

研究情報公開資料（オプトアウト用）

この公開情報をご覧になって、

1. ご自身が研究の対象になっているのかがよくわからない
2. 研究の内容や利用される試料・情報について詳しく知りたい
3. ご自身の情報が研究に用いられることを拒否したい

～この場合はお申し出により、試料や情報の研究への利用を停止します

などの場合は、下記12.の「お問い合わせ先」までご連絡ください

研究管理番号 (受付番号)	YCR19003
1 研究課題名	肥満症外科治療における Reduce port surgery ～効果、安全性～
2 研究機関および 研究責任者 (研究分担者) (共同研究機関)	研究機関 医療法人社団あんしん会 四谷メディカルキューブ 研究責任者 減量・糖尿病外科センター 笠間 和典、関 洋介、網木 学
3 研究期間 調査期間	研究期間 開始：院長許可後 ～ 終了：2019年3月31日 情報等調査期間 開始：2009年3月1日 ～ 終了：2017年9月30日
4 研究の背景・目的 ・意義・方法等	【背景】 高度肥満症に対する外科治療は優れた減量ならびに肥満関連疾患改善効果が得られる治療として本邦でも施行件数が増加しており、それに伴ってポート数を減らした Reduce port surgery が注目されています。 【目的】 当院における Reduce port surgery の効果、安全性を検証します。 【方法】 当院で2009年3月から2017年9月までに Reduce port surgery として腹腔鏡下スリーブ状胃切除術が行われた全31症例の成績を検証します。
5 研究の対象 となる方	当院で2009年3月から2017年9月までに Reduce port surgery として腹腔鏡下スリーブ状胃切除術が行われた全31症例を対象とします。
6 試料・情報等の 利用目的、利用方法	上記4に準じます。他機関への情報提供の予定はありません。
7 研究に用いる試料・ 情報の種類(項目)	身長、体重、内視鏡所見を経時的に分析し、評価する。個人を特定する情報は使用しません。
8 試料・情報を利用 する者の範囲	上記2と同じ範囲の者
9 試料・情報の 管理責任者	上記2に示した研究責任者
10 計画書等の閲覧	研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧可能です。 下記12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、知的財産権の保護等に支障がある場合は閲覧できないこともあります
11 その他の開示 すべき情報	個人情報については、一定の条件の下で開示可能です。 下記12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、他の対象者の個人情報に支障があるなどの場合は開示できないこともあります。
12 お問い合わせ先	試料・情報が研究に用いられることについて、ご本人（あるいは代理人）が了承されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。 連絡先所属・氏名（研究責任者あるいは窓口担当者）： 四谷メディカルキューブ減量・糖尿病外科 網木 学 住所：東京都千代田区二番町7-7 電話：03-3271-0430 FAX：03-3261-0401 メール：m-amiki@mcube.jp

診療情報を研究に用いるにあたっては、個人情報保護のため個人を識別できない状態にして6.の目的のためだけに使用します。また研究成果を学会や論文で発表する際は、「個人を特定できる情報を削除した上でデータ処理、解析」したものを使用します。